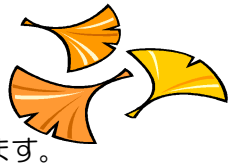
いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.２１１
２０２４（令和６）年１１月１５日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ

『　残りわずか　』

今金町教育委員　　水戸部　明子

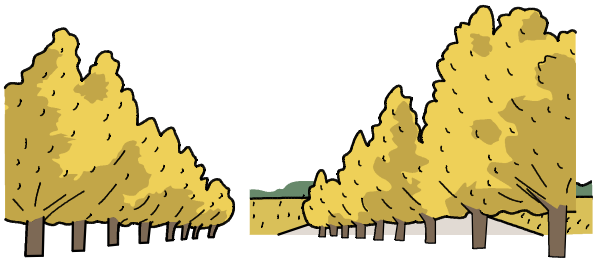


気付けばもう１１月です。あと１ヶ月で２０２４年が終わろうとしています。今年は、１月１日に能登半島地震が発生し、翌日２日には羽田空港での航空機事故、また３日には北九州小倉地区商店街での大規模火災と新年早々大変な幕開けとなりました。

そんな中でも、うれしいニュースもたくさんあった２０２４年。８月に開催されたオリンピックでは４５個のメダルを獲得し、多くの勇気や感動を与えてくれました。また、今年は何といっても「大谷翔平」ではないでしょうか。移籍１年目でワールドシリーズに進出しヤンキースに勝利し世界一となりました。

改めて考えると色々なことがあった２０２４年でした。２０２５年は巳年！「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味し「不老長寿」を象徴する動物または神の使いとして信仰されてきたので、この２つの組み合わせで「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表しているそうです。

そんな「巳」にあやかり実り豊かな２０２５年になることを願います。



雑感

下校中の小学生が手袋をしていました。秋の深まりを感じさせられます。雪の予報も出た今週。雪で明るい夜までのこの時期は、寂しささえ感じます。

うちの ALT ケビン君はテキサス出身。「寒くないかい」と聞いたら、「ストーブとこたつがあるので大丈夫」って。こたつ。いいよねえ暖かくて。でも、こたつに慣れてしまうと出てから寒くてね。それでついついこたつから出られなくなってごろごろと･･･。

自分はその際、よくこたつの中で膝の亜脱臼を起こしていました･･･。痛いんです。思い切ってはめた方が楽なんだけど、その思い切りが怖くて。ドジャース大谷さんの痛み、ちょっとだけ想像できます。亜脱臼じゃなかったみたいだけど･･･。

冬が始まるよ。

